

常総市 文書復旧ニュース 第5号

本誌は、平成27年9月関東・東北豪雨により被災した常総市公文書の復旧活動に係る進捗状況等について、御支援いただいた方々にお伝えるために作成しています。

常総市公文書復旧活動へこれまでに延べ700名を超えるボランティアの方に参加いただくと同時に、多くの機関・個人の方々から資機材をお送りいただきました。また、茨城県（教育委員会文化課、歴史館）、独立行政法人国立文化財機構、大学共同利用法人人間文化研究機構国文学研究資料館、茨城文化財・歴史資料救済・保全ネットワーク、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会、国立公文書館等から御指導・御助言・御支援をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

現在の作業現場

昨年9月の作業開始から水損に伴う劣化の進行を抑制するための作業を中心に実施してきました。乾燥も進み、カビの繁殖も目視では確認できない状態となりました。

搬出した順に各階へ分散して仮置きしていた文書ですが、これを行政資料目録に掲載されている文書とそれ以外の永年保存文書とに分類した上で、被災・未被災に分けて保管するように各階へ移動しました。

今まで3階で行っていた作業は空調設備のある2階で行い、3階は被災永年文書の保管スペースのみに使用することとしました。2階は行政資料目録掲載文書の保管及びクリーニング作業場、1階は未被災の永年保存文書の保管及び洗浄作業場とし、文書は全て被災前の配架の順に並べました。



写真は、上から3・2・1階の順です。作業が進み、様々なところに余裕が出てきたので、整理整頓に心掛けています。

7～8月の視察、研修等の受入れ、活動の紹介

7月から8月にかけて、埼玉県地域史料保存活用協議会による実務研修会や公文書活用、被災アーカイブズ保存技術等の研究や実務に携わるの方々による視察、中学生の職場体験、専門学校生のインターンシップ、大学生の資料保存研修にと多くの皆様が文書復旧の現場へお越しくださいました。ありがとうございました。

このほか、国立公文書館つくば分館の夏の企画展「災害の記録」（8月31日まで）では、常総市の文書復旧活動がパネルで紹介されています。

展示用パネルの貸出しをします

6月に庁内で市民向けに開催したパネル展「水害からの復興の歩み」に展示したパネルや常総市で作成した災害記録写真「忘れない9.10」のパネルの貸出しを行います。

防災活動やアーカイブズ保存活動等の普及に活用していただければ幸いです。

パネルの貸出しのほかに、データ(PDF)の提供もできますので、是非、詳細についてお問い合わせください。

ボランティアの御支援を随時受け付けております。
また、作業の見学や視察も歓迎いたします。
作業日時 平日・毎月第1土曜日 午前9時～午後4時
問い合わせ先 hosei@city.joso.lg.jp

編集・発行 平成28年8月9日
茨城県常総市水海道諏訪町3222番地3
常総市役所 総務部 総務課